



## 「マイナンバーカード」トラブル頻発 「マイナ制度」検証が必要です



来年秋に施行されるといわれる紙の保険証を廃止するマイナ保険証、そして基となるマイナンバー制度、これらに対し国民の不安感が急速に広がっています。見直した廃止を求める投書、投稿がマスコミへ多数寄せられています。

その個人情報が入り込んで登録されたことで発生しています。多発するトラブルに、現在の紙の保険証を廃止するということにより混乱する窓口、そして医療情報漏洩になるのではないかと反対の声が大きくなってきました。

この制度の有り様をこの機会を捉え確認しなければならぬと思います。マイナンバー制度が提案された当時、国民総背番号制度には問題があるとする議論がありました。個人に関する情報が個人番号によって管理され、すべて政府に都合よく利用されてしまうのではないかとこの疑念もありました。

現状の保険証を廃止しマイナカードに紐づけされるマイナ保険証は不備な面があることが明らかに厚労大臣の謝罪に至っています。しかし政府はマイナ保険証への切り替えを強行する方針を崩していません。

国民の声の高まりに政府はマイナンバー情報総点検本部を設置し、今秋までに健康保険証など全ての情報を点検すると表明していますがどうなるでしょうか。現在、紐づけされる項目は29項目にも及びます。

このマイナンバー制度、特にマイナ保険証は任意です。しかし取得すべきか見合わせるべきかと国民を戸惑わせています。現行の制度に私たちの利便性は見当たりません。

取得は任意だとされるマイナカードですが77%が取得済みと報われています。政府は取得率の向上を目指しマイナポイントで5千円、さらに保険証、銀行口座の紐づけで各7.5千円、合わせて2万円のポイントを付与し煽ります。さて、そのカードには個人情報が入り込んで紐づけされます。この度のトラブルは

運転免許、パスポート、障害に関する手帳等々、個人のあらゆる情報が記録されます。これらの取り扱いには誤りや漏洩などは決してあってはならないことですが現状では正しく運用されているとは思えません。

マイナンバー制度は行政の効率化、国民の利便性が目的と説明されますが、私たちはこの制度の有り様をこの機会を捉え確認しなければならぬと思います。マイナンバー制度が提案された当時、国民総背番号制度には問題があるとする議論がありました。個人に関する情報が個人番号によって管理され、すべて政府に都合よく利用されてしまうのではないかとこの疑念もありました。

この制度の有り様をこの機会を捉え確認しなければならぬと思います。

マイナンバー制度は行政の効率化、国民の利便性が目的と説明されますが、私たちは

この制度の有り様をこの機会を捉え確認しなければならぬと思います。

今月の予定です	
7月2日(日) 13:30~16:30 DVD視聴と意見交換 南部梅郷公民館	映像は嘘をつく「映像プロパガンダ戦」 南地域九条の会
7月8日(土) 13:30~16:00 野田・九条の会 7月例会 総合福祉会館 第1会議室	Youtube動画を 見て意見交換 「国の財政を考える」 野田・九条の会
7月9日(日) 16:00~17:00 九条通信配布・ボードでアピール 梅郷駅 通路	野田・九条の会
7月19日(水) 13:30~15:30 ちょっと変わった「おしゃべりフェ」 北コミ集会所	社会や政治のことなど気軽に おしゃべりしませんか。 野田・九条の会
8月6日(日) 13:30~16:40 DVD視聴と意見交換「ルポ・死亡退院 精神医療・闇の実態」 南部梅郷公民館	南地域九条の会



九条

先日、くじょうて何と聞かれました!

ってなに?

思わずエッと聞き返してしまいました。憲法九条の読みのことと気づきました。日本国憲法第九條「戦争の放棄」はずっと私たちの暮らしを平和に支えてきてくれました。条文を読み返してみると「二度と戦争しないこと・戦力を持たないこと」を宣言しているのだと改めて感じたできごとでした。



6月の例会では

「第五福竜丸被曝60年(2014)」を見て意見交換をし、活発な意見交換となりました。

- ・ピキニ環礁で米水爆実験により乗組員23人全員が死の灰で被曝。人間として許せない。未だ謝罪もない。
- ・米国は核による利権をえるためには手段に容赦ない。
- ・政府は日米安保条約と平和的な外交努力をどう両立発揮するのか。
- ・エネルギーを原発依存へと暴走しようとするが疑問。

今月の例会はYouTube動画を見て「国の財政を考える」です。

### □ 法人減税の穴、消費者が埋める

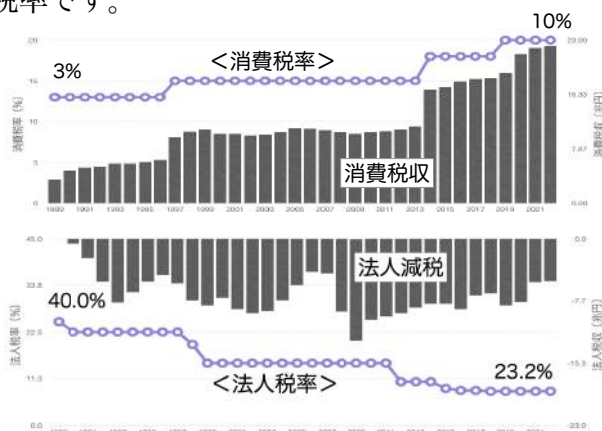
まず右図を見ていただきましょう。棒グラフ上は'89年から'22年までの消費税収、下は法人税減税額（'89年基準）です。線グラフはそれぞれの税率です。

消費税率が上がれば法人税率が下がっています。つまり、法人税減税で落ち込んだ税を消費者が負担してきたことがハッキリと読み取れます。

近年ではその負担額は穴埋めを上回っていて政府、財務省は社会保障に全額を使っていると説明しますが、国債償還へ大部分を使ったことが国会で明らかになっています。

日本衰退の原因はこのおかしな消費税の構造が大きく影響しているといえます。消費者から所得を吸い上げ一部のみを優遇する、これを30

0年超も続けた結果は格差拡大、貧困層の増加で国力は低下し衰退してきました。10月インボイス制度が導入されれば小規模事業者は苦しくなり、日本衰退の構造が完全に定着されてしまいます。



### □ 国民を豊かにする構造に

大多数の人々は懸命に生活のやりくりをしながら暮らしを立てています。日々の仕事や雑事に追われ、なかなか政治にももの申すことができません。これは与党、財界にとってはやり易いこと、有権者は眠らせておきたいのですから。無関心は好ましく、現に台湾有事を煽り抑止力が必要だと思い込ませ**防衛財源法、防衛産業強化法**を成立させ商機を狙っています。平和国家日本に米国と同様な軍産複合体を新たな社会構造としてつくらせてはいけません。43兆円をごく一部の利益へと目論みますが、懸命に働く人々にこそ投資される構造にすべきと思います。一人当たりの賃金は25年間ずっと低落してきています。この傾向は日本のみで、ここにきて89%まで低下してしまいました。このおかしな構造は自民党による経済政策の失敗と言えます。所得向上策はあります。まずは消費税制を変えることです。大資本が毎年最高益を更新し続け恩恵をうける構造から、痛税感をやわらげ私たちを救う税制へ転換することです。総選挙が取り沙汰されています。自らの意思を示し変えられるときが近づいてきています。



### 社会変革のヒント 坂口秀雄

どうして世の中良くならないんだろう。「無力だな」「どんどん悪くなっている」歳を重ねるほどそんな思いが募っていました。「平和運動に意味があるのかな？変化を望んでいない国民なら運動なんて辞めようかな？」そんな思いの中で飛び込んできた社会の変え方「日本の政治をあきらめていたすべての人へ」の題名に惹かれ購入し一気に読みました。

前明石市長の泉房穂氏の著書は目からウロコの一冊となり、上記記入していた迷いが払拭されました。



12年の市長の実績が凄い（ネットで調べて下さい！）支援団体の応援も皆無の中で市民の圧倒的な支持を受けての12年。マスコミの報道では「とんでもない暴言市長」としか写っていませんでした。

数々の変革に対して「明石でできることは、全国どこでも出来る。国でもできること」「生きやすさ」と経済は必ず両立できる」福祉の充実は予算の使い方を変更し、税収をアップした明石市。

私たちは何をしなければならないかを示唆し、変わらないのは、私たちの責任と書かれています。

明石市民が選んだ未来にどんなことが起こったのかを示してくれたのは、**政治を変えることができたなら、私たちの生活は変わるという事実**です。彼の提言は日本を変えるかと思っています。